

平成29年3月1日

病・医院長 様
施設長 様

気仙沼市医師会臨床検査センター
所長 菊地 淳一
(公印省略)

HbA1c と HbF 値の同時報告について（お知らせ）

日頃当医師会臨床検査センターをご利用いただき誠にありがとうございます。

さて、当センターのグリコヘモグロビン測定原理である HPLC 法（高速液体クロマトグラフィー法）は、HbF を単離測定できることにより、異常ヘモグロビンの検出が可能となっています。

HbF は本来胎児 Hb ではありますが、日本人（成人）で高値の場合、様々な疾患でその有用性や予後の反映について報告されております。また、異常ヘモグロビン保有者の多くは無症状であり、HPLC 法による HbA1c 測定時に発見されることもあります。

そこで、当センターにおいても HbF の報告が可能であることから、HbA1c 報告値に HbF 値を併記することと致しました。

HbF 値の報告により様々な疾患の予後判定や早期発見等、診療の一助となることができれば幸いに存じます。

また、今後も検査データの質の向上と検査に関する情報提供を進めて参りたいと思いますので、ご指導の程宜しくお願い申し上げます。

記

報告開始期日：平成29年4月1日（土）受付、以降報告分より

詳細につきましては、次ページをご参照ください。

◆HbA1c

ご依頼時は HbA1c にチェックをつけてください。

変更内容		新	現行
検査項目名		HbA1c 及び HbF	HbA1c
検査方法		HPLC 法	同左
報告値	HbA1c	0.0 ~ 最終値	//
	HbF	同上	※
基準値	HbA1c	4.6 ~ 6.2%	同左
	HbF	1.5%以下 ¹⁾	1.2%以下 ²⁾
所要日数		1日	同左
診療報酬		実施料 49点	//
臨床的意義		HbF が増加する場合 遺伝性高胎児血色素症 (HPFH)、サラセミア、先天性溶血性貧血、再生不良性貧血、遺伝性球状赤血球症、遺伝性橢円赤血球症、発作性夜間色素尿症、フォンウイルブランド病、白血病、若年性慢性骨髄性白血病、多発性骨髄腫、悪性腫瘍、骨髄異形成症候群、肝疾患、甲状腺機能亢進症	

※HbF 値 1.2%以上のみ報告

[参考文献]

- 1) 東ソー株式会社バイオサイエンス事業部：HLC-723G9 トレーニングスクールテキスト (講義2), 2010.
- 2) ファルコバイオシステムズ：検査案内.
- 3) 松山秀介：「若年性慢性骨髄性白血病の特徴」, 医学のあゆみ, 1987; 140 (8) : 605.
- 4) 一柳好江,他：「血液疾患における HbF 値測定の意義について」, 医学検査, 2005 ; 54 (4) : 463.
- 5) 川井尚臣,他：「胎児ヘモグロビン合成の異常」, 病態生理, 1982 ; 1 (4) : 402-409.
- 6) 金井正光, 他：臨床検査法提要, 改訂第 34 版 : 344, 492-493.